

2020年5月18日

株式会社パスコ

(おしらせ)

新型コロナウイルス感染症を契機とした新たな働き方の構築について

弊社では、新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大を抑制する基本行動の徹底、在宅勤務を基本とした業務環境の維持、不要不急の出張・外出制限、お客様をはじめとする外部関係者とのコミュニケーションのオンライン化を継続しております。

2020年5月14日、政府により一部の都道府県を除く39県に対して緊急事態宣言の解除が発表されました。これを受け、当社では、社員の健康と安全の確保、お客様をはじめとする関係者の皆様への感染拡大を防止するため、これまでの対策を堅持するとともに、持続的な企業活動のための新たな働き方の構築に取り組んでいます。

■新たな働き方の構築

当社は、「地球をはかり、未来を創る ～人と自然の共生にむけて～」を経営ビジョンに掲げ、2018年からは、「パスコグループ中期経営計画 2018-2022」を策定し「持続的な企業成長に向けた利益体質への変革」に取り組んでいます。

このような中、生産改革や多様な働き方への対応のほか、WEB会議やテレワーク環境などのIoT基盤の強化に取り組んでまいりました。今般の新型コロナウイルス感染症を契機に、さらに加速し、新たな働き方の構築を推進してまいります。

1) 生産プロセスの改革

品質の高い成果を提供するために、AIやRPAを活用した生産の自動化・省力化を推進するとともに、在宅勤務・モバイルワーク・サテライトオフィス勤務などのテレワーク環境を前提とした生産プロセスに転換する。

2) コミュニケーション手法の進化

社内はもとより、お客様や外部関係者との確かな合意形成を図るために、WEB会議・メール・電話などのデジタルツールをフルに活用したコミュニケーション手法に進化させる。

3) スマートオフィス環境の実現

従業員の多様な働き方に対応するために、勤務場所や時間に左右されない在宅勤務・モバイルワーク・サテライトオフィス勤務などのテレワーク環境と制度の構築により、スマートなオフィス環境を実現する。

関係各位にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上